

# 講演会のご案内

演題： タンパク質分解酵素 ADAM による多彩な生体制御機構  
免疫反応から筋衛星細胞機能維持まで

講師： 慶應義塾大学医学部整形外科学教室  
抗加齢運動器学講座  
特任准教授 堀内 圭輔 先生

日時： 平成 27 年 11 月 30 日（月） 17:00～18:30

場所： 藤井節郎記念医科学センター 2 階多目的室(1)(2)

## ■ご講演要旨■

ADAM は膜型のタンパク質分解酵素であり、特定の膜型タンパク質を細胞膜近傍部位にて切断 (ectodomain shedding) し、細胞外に放出する機能を担う。ADAM 遺伝子はこれまで 33 の類縁遺伝子が同定されているが、これらの中でも ADAM17 / TNF $\alpha$ -converting enzyme (TACE) と ADAM10 が ectodomain shedding の中心的な酵素として広く研究がなされている。ADAM17 はもともと TNF $\alpha$  の膜型前駆体を切断・可溶化する酵素として同定された分子であるが、EGFR リガンドを始めとして、数多くの膜型タンパク質が ADAM17 の基質として近年同定されている。一方 ADAM10 は Notch シグナルの活性化に必須であることが、われわれおよび他の研究グループの研究で明らかになりつつある。われわれは、ADAM10, ADAM17 の遺伝子改変動物を作製し、これらの遺伝子の生体における機能解析に従事してきたが、近年の研究から ADAM10 が筋衛星細胞の機能維持に必須であることを明らかにし、報告した。本講演では ADAM10, ADAM17 による ectodomain shedding の機能を概説するとともに、筋衛星細胞における ADAM10-Notch シグナリングの生理的機能に関し検証・考察する。

多くの先生方、大学院生、学部学生、興味をお持ちのすべての方々のご来聴を歓迎致します。

※本講演は、蔵本キャンパスの大学院各教育部の大学院特別講義を兼ねています。

連絡先：生体栄養学分野 二川 健（内線 9248）